

1. 基本情報				対象年度 (27 年度)			
施策コード	124		施策名	郷土文化の保全・継承			
将来像	1	安全でうるおいのある暮らしができるまち(「暮らし」の分野)					
まちづくりの基本目標	12	生きがいを持って文化的に生活できるまち					
主担当部	教育部		主担当課	郷土博物館	係		
担当者	石川 智裕		役職	教育部長	内線	321	
関係課	市史編さん室						

2. 施策の方向		
10年後の姿	清瀬の歴史への理解が深まり、誇りと愛着が生まれています。また、次世代に清瀬の歴史と文化が継承されています。	
施策の方向性	1 市民が郷土文化にふれ、清瀬への愛着と誇りを高める環境を整備します	
	2 市の歴史や文化を次世代に継承します	
	3 学校教育での郷土博物館の資料や人材の活用を推進します	
	4	0
	5	0

3. 構成事業の状況				(単位:千円)			
No.	事務事業名	実行計画	施策の方向性	担当課	平成26年度決算	平成27年度決算	平成28年度予算
0110050302	博物館協議会事業		すべて	郷土博物館	120	80	168
0110050303	博物館施設維持管理事業		すべて	郷土博物館	14,976	14,649	33,162
0110050305	博物館事業	対象	すべて	郷土博物館	4,113	6,431	5,007
0110050602	文化財保全事業	対象	すべて	郷土博物館	582	692	372
0110050603	埋蔵文化財事業		すべて	郷土博物館	614	19	320
0110050604	旧森田家運営管理事業	対象	すべて	郷土博物館	488	516	903
0102010817	市史編さん事業	対象	2	市史編さん室	823	7,490	9,268
総事業費(施策の合計)					21,716	29,877	49,200

4. まちづくり指標				平成26年度	平成27年度	平成28年度
指標情報						
①	名称	郷土博物館入館者数		目標値	—	48,000
	説明	郷土博物館に来場した人数	単位 人	実績値	—	46,643
	抽出方法	来館者カウンターによる人数		達成率	—	
②	名称	伝承スタジオ事業の参加者数		目標値	—	950
	説明		単位 人	実績値	—	894
	抽出方法			達成率	—	
③	名称			目標値		
	説明		単位	実績値		
	抽出方法			達成率		

5. 評価

評価基準		評価	評価理由
投入財源・成果 （「3. 構成事業の 状況」「4. まちづ くり指標」）に対す る評価	総合評価	B	<p>構成事業の状況については、施策の方向性2には市史編さん事業を、1～3のすべてには博物館協議会事業、博物館施設維持管理事業、博物館事業、文化財保全事業、埋蔵文化財事業、旧森田家運営管理事業等を、それぞれ目的達成の手段として構成しており、「10年後の姿」を達成するための適当な事務事業が展開されている。</p> <p>郷土博物館は、昭和60年の開館から学芸員を配置し、資料の収集保管、調査研究、展示、文化センター機能を活かした市民文化の向上を図る多種多彩な企画展等を行っている。今後、展示室の展示替えや、魅力のある企画展の開催を予定している。また、伝承スタジオについて、郷土文化を次世代に繋げるため、昔から守り伝えられてきた年中行事の「茶摘み、茶もみ」、「小正月のまゆ玉飾り」等の開催や、食文化である「うどん作り」、「かしわ餅」の他、「しめ縄づくり」等の講座を開催し、市民の歴史への理解や、誇り、愛着が生まれるよう努めた。</p> <p>まちづくり指標については、①②ともに横ばいであり、概ね施策目的を達成している。</p>

6. 施策を取り巻く環境

外部要因	状況	外部要因に対する評価	評価理由	前回評価からの修正 あれば
市民ニーズ の状況	社会や市民ニーズの変化の中で、郷土博物館への市民参画等、新しい取組が求められている。	3. 施策の必要性を高める	郷土文化等への関心を高め地域への愛着を深めることができる。	
将来人口 の推移	高齢化が進み、郷土文化等の伝承が懸念される。	3. 施策の必要性を高める	清瀬の伝統文化を継承できる人の減少に繋がる。	
他自治体 との比較	市史編さん事業については、現在、八王子市・立川市・羽村市・府中市・小金井市・狛江市で取り組みを行っている。	1. 施策遂行に役立つ・有利	市史を編さんしていくうえで、各市の取り組み方法が参考になる。	
民間企業・NPO ・市民の動向				
法・制度改正 の動向				
技術革新 の動向	デジタル機器の普及により映像等を駆使した展示が可能となっている。	1. 施策遂行に役立つ・有利	常設展示室で28年7月より映像を使った常設展示を行っている。また、ロビーではバーチャルミュージアムの公開を行っている。	
その他				

7. 今後の施策課題

No.	今後の施策課題	左記課題に関する現在の取組状況
①	伝統文化・郷土芸能等を継承していく上で後継者不足している。今後後継者の人材をどのようにつなげていくかが課題となっている。	伝統文化等の講座等を開催し、啓発活動を行うとともに文化財及び郷土芸能を保存、継承するため各保存会を支援し後継者の育成を図っている。
②	社会や市民ニーズの変化の中で郷土博物館への市民参画等新しい取組が求められている。	現在、「学びの循環」を具現化する清瀬学芸員制度を検討している。
③	市民が多様な文化芸術に触れ合えるような、より質や芸術性の高い事業や、企画展の開催が求められている。	年3回程度の企画展と、ミュージアムコンサートを開催している。
④	平成21年度から着手している収蔵資料のデータベース化及び公開を完了させる。	古文書は3,527点すべて、民具は4,500点中3,980点が、マイクロフィルム化及び台帳整備が行われ、内部で検索等が可能である。